

個性豊かなフリーペーパーを通して人と人とがつながる場所に

火 曜と木曜の夜、梅田の外れでレトロな一軒家に黄色い明かりが灯る。ふらっと立ち寄った人も常連も、フリーペーパーを手に取ってお酒を飲みながら語り合う「はちみつとフリーペーパーのお店 はっち」。アーティスト活動を応援する一般社団法人ワンプロジェクトのメンバーが、「フリーペーパーを通して人が交流する場にしたい」と2015年にオープンした。店内には青森から沖縄まで、全国から集まった約130点のフリーペーパーが並ぶ。テーマは地域限定や土偶、灯台、額装などさまざま、中には妄想で書いた星占いや手のひらサイズのものもあり、変化に富んでいる。同店の女将役である田面遙華さんは、「制



営業時間20時～23時。自身も制作活動を行う6名のスタッフが、各々仕事の調整をつけて輪番する。

限がなくて自由。愛情が伝わってきます」とその魅力を話す。作家によるトークショーやフリーペーパー制作ワークショップなどのイベントも盛んで、3月には台湾でもブースを出展。想いを詰め込んだ「紙」が、全国、そして世界の人と人とをつなげている。「はちみつとフリーペーパーのお店 はっち」。<https://hatch2015.jimdo.com/>

限られた時間や日数でも働く 職住近接のジョブシェアセンター開設

茨 木市に2月、人材派遣事業を手がけるパーソルテンプスタッフ株式会社が、ライフスタイルに合わせて仕事ができる「ジョブシェアセンター」を開設した。子育てや介護をして



センター内はカフェをイメージしたおしゃれな空間。リフレッシュルームも備え、快適に仕事ができる環境が整っている。

いる人やシニア世代など、勤務時間が制限される人を同社が業務委託社員として雇用し、希望条件にマッチした仕事を提供する。茨木市の中心地に住む人は電車通勤せずに勤務も可能。仕事の内容は簡単な手作業から事務作業、専門的な業務まで幅広く、2月5日の開設以降、すでに近隣住民が利用を開始している。利用者からは「家庭と仕事の両立ができる」「子どもが大きくなってから社会復帰するまでのトレーニングになる」と評価は上々だ。今後は、センター内の「学びのスペース」で、パソコンのスキルアップのためのeラーニングやカルチャースクールを開催する予定。

北摂地区7市3町 レジ袋の無料配布を中止

自 然環境保護やごみ削減を目的として、北摂地区7市3町（豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町）は、同地区内にスーパーマーケットがある事業者9社と、「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定締結式」を2月に実施した。マイバッグ持参率80%



を統一目標とし、事業者と自治体が連携し、レジ袋の利用削減を呼びかける。

4月1日に協定が発効し、6月1日以降114店舗でレジ袋の無料配布が中止される。対象となる人口は約180万人で、全国最大規模の取り組みとなる。

多発する二輪車乗車中の死亡事故

JR千里丘駅西地区市施行で再開発へ

摂 津市は、千里丘西地区の再開発を、市施行で進める方針を正式に決定した。3月の議会で審議し、予算が成立すれば来年度より計画の検討を進めていく。

昭和63年、地権者による千里丘西地区市街地再開発準備組合が発足し、約30年に渡り再開発に向けた活動を続けてきた。しかし経済情勢の悪化などにより、活動の規模は縮小。2013年からの3年間は国の補助金を受けて計画の検討に力を入れてきたが合意に至らず、昨年4月に組合は解散した。しかし同地区は、狭い道路に囲まれた木造住宅が密集する地区。密集市街地の解消や交通安全対策の必要性があり、同市は、すでに都

市計画決定されていた千里丘西駅前交通広場と都市計画道路の整備案と比較検討した結果、市施行の再開発を行うことを決定した。駅前にふさわしいまちづくりが進められていくのか、今後の動向に期待がかかる。



JR千里丘西口。信号もない三叉路に、車や自転車、歩行者が行き交う。

体験交流型観光プログラム「オープンたかつき」 2018年春のプログラムが4月から実施

高 槻市全域で開催される「オープンたかつき」。ただ見るだけでなく、実際に体験したり、地元ガイドや店主との交流を楽しむなど、高槻市の魅力により深く触れることができる観光プログラムとして、この春に5回目を迎える。今回は、関大アイスアリーナでの滑走体験や地元ガイドと巡る歴史探訪、観光大使と行くグルメツアーなど約40のプログラムが揃う。各プログラムはツアーカー化されており、高槻市外の方でも気軽に参加して楽しむことができる。さらに、主催である高槻市観光協会が設立50周年を迎え、富田地区や真上地区を地元ガイドと巡る特別プログラムも実施される。



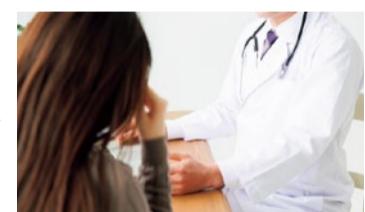
オープンたかつき2018春

2018年春に開催される全プログラムが載った冊子。JR高槻駅中央改札 高槻市観光案内所などで設置(3月末から)。

[問い合わせ・予約]
TEL:072-675-0081(公益社団法人 高槻市観光協会)
受付:平日9時半～17時半(土日祝・年末年始を除く)
<http://open-takatsuki.jp/>

ひとり親家庭の医療費助成の対象者を拡大

摂 津市では、ひとり親家庭の生活安定と健康保持のために実施している医療費助成について、4月から対象者を拡大する。「大学(短期大学を含む)・高等専門学校・専修学校(専門課程に限る)に在学する22歳到達までの学生」と「その学生を監護・扶養しているひとり親家庭の父又は母」に該当する約130世帯が対象となる。550万円を市で



予算化した。市ではひとり親家庭の貧困対策を講じる中で、大学等の進学率が全世帯平均に比べ30%以上低いことに着目。経済的負担を軽減することで高等教育を受ける機会を創出し、貧困の連鎖を解消することを目的としている。

大阪府下の二輪車が関係する交通事故発生状況等

(平成30年2月末速報値)

- 交通事故件数 5,101件 (前年比 -194件)
- 二輪事故発生件数 1,232件 (前年比 -63件)
- 交通死亡事故死者数 28人 (前年比 +1人)
- 二輪事故死者数 10人 (前年比 +1人)

二輪車は、実際よりも小さく、遅く、遠く見える

- お互いの動きを過信せず、再確認・最確認!
- 次の運転操作は 一呼吸を置いてから!
- ドライバーも、ライダーも、右からの横断歩行者に注意!

大阪府警察交通総務課では
「LINE@」で各種イベントや
交通安全情報等を発信している。
ぜひQRコードから登録を!

[アカウント名]
大阪府警察本部
交通部交通総務課

